

大会名 Competition	第63回秋田県高等学校総合体育大会 バスケットボール競技
NO. M-1	Year Month Day Time 2016 年 6 月 6 日 10 : 00
場 所 Place	能代市総合体育館



秋田県高等学校体育連盟  
バスケットボール専門部

チームA		チームB
湯沢翔北	( 25 1st 12 21 2nd 19 18 3rd 21 26 4th 17 OT )	秋田中央
90 ○		69 ●

主審:Referee 久米 克弥  
副審:1stUmpire 佐藤 良明  
副審:2ndUmpire 水木 順仁  
テーブル・オフィシャル:Table officials  
能代松陽高校女子バスケットボール部

No.	PI-IN	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-IN	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	佐々木 留 夏	CAP	23	0	9	5	2	4	×	嵯 峨 ももこ	CAP	3	1	0	0	4
5	×	高 橋 悠 佳		16	0	8	0	4	5		吉 田 吏 歩		-	-	-	-	-
6	×	村 上 瑠 奈		10	1	3	1	0	6		草 薨 琳 瑛		-	-	-	-	-
7	/	佐 藤 緩 乃		6	0	3	0	1	7	×	岸 聡 子		18	0	6	6	2
8	×	高 山 美 瑠		8	0	4	0	3	8	×	佐々木 菜 摘		25	1	7	8	4
9		横 山 萌 華		-	-	-	-	-	9	×	菅 原 舞		12	2	2	2	2
10	/	鈴 木 あ み		0	0	0	0	0	10	×	川 村 梨理佳		11	1	4	0	1
11	/	目 黒 歩 子		15	0	7	1	3	11		栗 谷 南美羽		-	-	-	-	-
12	×	安 藤 千 遥		12	0	6	0	2	12		半 田 結 衣		-	-	-	-	-
13		齊 藤 可 怜		-	-	-	-	-	13		小 野 鈴 奈		-	-	-	-	-
14		近 藤 萌 萌		-	-	-	-	-	14		門 間 結 美		-	-	-	-	-
15	/	長谷川 美 加		0	0	0	0	2	15		富 岡 榛 奈		-	-	-	-	-
16		小野寺 紅 美		-	-	-	-	-	16		浅 倉 好 花		-	-	-	-	-
17		浅 利 千 希		-	-	-	-	-	17		坂 谷 晴 日		-	-	-	-	-
18		高 橋 愛		-	-	-	-	-	18		佐々木 琴 子		-	-	-	-	-
19		佐 藤 留 菜		-	-	-	-	-	19		中 田 結梨佳		-	-	-	-	-
20		佐 渡 ほのか		-	-	-	-	-	20		鈴 木 綺 乃		-	-	-	-	-
21		加 藤 望 希		-	-	-	-	-	21		三 浦 舞 羽		-	-	-	-	-
コーチ		熊 渡 真 裕							コーチ		門 間 義 範						
Aコーチ		熊 谷 傳 裕							Aコーチ		幕 沢 美 穂						
合 計				90	1	40	7	17	合 計				69	5	19	16	13

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P\* イントシュート 2P:2P\* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

女子の決勝は7年連続の優勝を目指す湯沢翔北と、11年ぶりの優勝を目指す秋田中央の対決となった。両チームとも激しいディフェンスからの立ち上がり。先制したのは秋田中央。#4嵯峨の3Pで先制する。さらに#9菅原も3Pを決めて主導権を握ろうとするが、湯沢翔北もオールコートの激しいディフェンスからシュートを決め、流れを渡さない。残り4分を切り、湯沢翔北の#4佐々木がドライブからのジャンプシュートやフリースローを決めて差を広げ始める。秋田中央は流れを断ち切ろうと残り2分でタイムアウトをとるが、その後も湯沢翔北は#11目黒や#12安藤が鋭いドライブから次々とシュートを決め25-12と湯沢翔北がリードして第1ピリオドが終了した。

第2ピリオドに入っても湯沢翔北の勢いは止まらない。#7佐藤、#8高山らが高さのあるリバウンドで制空権を握る。さらに#11目黒や#12安藤らのドライブで突き放す。しかし残り4分を切り、秋田中央の#8佐々木がゴール下での存在感が増す。湯沢翔北はダブルチームで対応するもファウルを重ね、その後のフリースローも決めたことで秋田中央がじわじわと差を縮め始める。終了間際に湯沢翔北#6村上がシュートを決め46-31と湯沢翔北が15点のリードをして前半が終了。

後半に入ると両チームのディフェンスが激しさを増し、一進一退の攻防が続く。湯沢翔北は#5高橋のゴール下やミドルシュートで得点するが、秋田中央も#8佐々木のゴールで食らいつく。残り2分を切り秋田中央は#9菅原、#8佐々木が連続で3Pを決め、一気に差を縮める。その後も秋田中央の#8佐々木が高さを生かしてインサイドを支配し、湯沢翔北64-52秋田中央で第3ピリオドが終了。

第4ピリオドに入っても秋田中央#8佐々木の勢いは止まらない。しかし湯沢翔北は素早いヘルプディフェンスで少しずつ動きを封じ始める。対する秋田中央は#7岸にボールを集め、得点を重ねる。湯沢翔北はチームファウルが貯まるが、秋田中央はフリースローが入らず得点を伸ばすことができない。湯沢翔北は#6村上が冷静にボールをコントロールしてが流れを渡さず、激しいディフェンスで終始試合をリードした湯沢翔北が90-69で7年連続の優勝を手にした。

文責 【 佐々木隆介(能代松陽) 】

# 得点推移

